

# ほたるの里だより



「今年のほたるの里づくりに思う」

ほたるの里づくり実行委員会会長 加藤 賢三

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第29号 2010年4月

八千代のほたるの里の初期は、ゲンジボタルとヘイケボタルの自生を目指していました。一時的には、放流したゲンジもヘイケの幼虫もそれなりに成虫になりよくとんだ時期もありました。その後、大切な地域のヘイケボタルの保全を目標におき、八千代産のヘイケボタルの養殖を始めました。それが軌道に乗り今日に至っています。4～5年前から、放流をしていますが、毎年、年間にして10匹～20匹くらいしか飛翔しないのが現状です。この原因となるものの一つは、幼虫の天敵であるザリガニが多いことです。そこで、毎年、里でのザリガニ釣りをしているわけです。ヘイケボタルの生息場所としてよく知られているのは水田です。そこで、

今年、「ほたるの里の湿地を田んぼに！」をはじめます。その下準備として、昨年8月には、繁茂していたガマとアシの刈り取り作業をしておきました。この作業については「里だより」28号をお読みください。今年の5月ごろにこの湿地に稲を植えて、ミニ田んぼづくりを予定しています。楽しみです。また、今年はいちばほたるマップ2010を作成する予定にもなっています。同様なほたるマップは、6年前にも同じ基金で作成した経緯があります。ホタルメイ

ア

トによる、当実行委員会はこれまでも、千葉県で初めてのホタルサミットを開催したり、市民、企業、行政とのパートナーシップの実績を積んできています。

実は、昨年、県の21年度の生物多様性モデル事業で、ニホンアカガエルやヘイケボタルの描かれた3タイプのバッジを作成しました。これを、今年度は皆さんにもっと知っていただき、普及したいと考えています。

昨年、やちよ市民活動サポートセンター祭りで、ほたるの里に関する調査を行ったところ、およそ50%の方がほたるの里にいったことがあるという結果でした。今年は、もう少し、増えてほしいですね。本当は、この数字にとっても元気づけられています。

ほたるの里は、①ホタルだけではなく、メダカもアカガエルもジャコウアゲハ、その他の色々な生き物の棲める里、②市民の皆様に親しめる、潤いと癒しの里、③環境学習の場にしたいですね。

一度壊した環境を復元することの難しさを体験しつつ、ホタルがいつまでも棲み続けられる八千代であってほしいと思います。今年度も、ほたるの里をよろしくお願いいたします。



## 第13回総会の報告

ほたるの里づくり実行委員会の第13回総会が4月10日（土）に郷土博物館で行われました。平成21年度の活動及び会計報告、22年度の活動予定について話し合った後に、ガキ大将の森で自然観察会を行いました。

総会では、リーフレットや冊子やバッジなどを出席者にお配りしました。3種類のバッジは何が入っているかわからないよう袋に入れており、開けてみると欲しかったバッジが不思議とその方の手元に届いたように思われました。

自然観察会は天候にも恵まれ、ヒトリシズカやタチスボスミレが春の訪れを教えてくれました。また、普段見かける緑色のアマガエルが茶色い保護色を身にまとい、自然の神秘を見ることができました。

来年は観察会の後にお花見なんかもいいかもしれませんね。

（文責：広報部）

## 湿地の改良について

企画部 赤間 洋明

ほたるの里づくりの活動も今年で13年目になります。里のホタルを少しでもふやしたいと会員による里の環境整備を進めてきました。しかし、その成果は残念ながらはかばかしくはありません。この状況を打破するために湿地を田んぼにしたらいいのではと昨秋からアシを刈ったり、その根を掘り起こしたりしてきました。最終的に湿地をどんな姿にするかは必ずしも明確ではありません。

湿地改良の意見、アイデアを出し合うきっかけに一案を示します。

### 1. 湿地改良の考え方

\*湿地全体としては多様な生物が生存する場にする。

\*その中にホタルやニホンアカガエルの幼生にはすみ易く、外敵を駆除しやすい環境をつくる。

### 2. 湿地の改良

#### (1). 湿地

\*湿地に小さな島と浅い池をつくり、ホタルやニホンアカガエルの幼生保護域にする。

\*島に近い湿地の外周部は水深を深くして人が島へ踏み込みにくくする。

\*湿地の島寄りには水深を浅くしてニホンアカガエルが産卵しやすいようにする。

#### (2). 島

\*島の中にホタルやニホンアカガエルの幼生がすめる池をつくる。

\*ホタルの蛹化、羽化、産卵の場所に適した植生にする。

#### (3). 池

\*ザリガニなどの外敵を防除し易くするため浅い池にする。

\*この池にホタルやニホンアカガエルの幼生を放流して増殖をはかる。

\*イネを植えてモノアラガイ、サカマキガイ、タニシ等のエサ生物の増殖をはかる。

\*野鳥による幼生の捕食を防ぐためイネをなるべく

密に植える。

\*必要により石片、陶片を池に入れてホタルの幼虫、オタマジャクシの隠れ家をつくる。

\*池の水質悪化を防ぐため小さな水路を設ける。水路は金網でザリガニ等の侵入を防ぐ。

遮光:

\*湿地の周りは丈の高い草が密に植えるようにする。あるいは、羽化～産卵の期間は外光の入りやすい側に遮光ネットを張る。

◎これ以外に、いいアイデアがありましたら、ほたるの里づくり実行委員会事務局までお送り下さい。

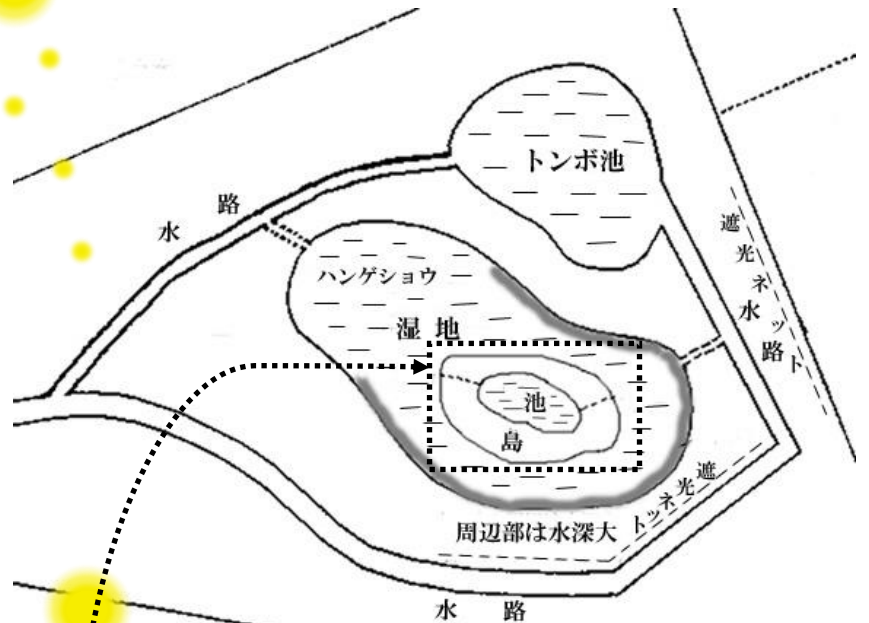


図1. ほたるの里の湿地とトンボ池

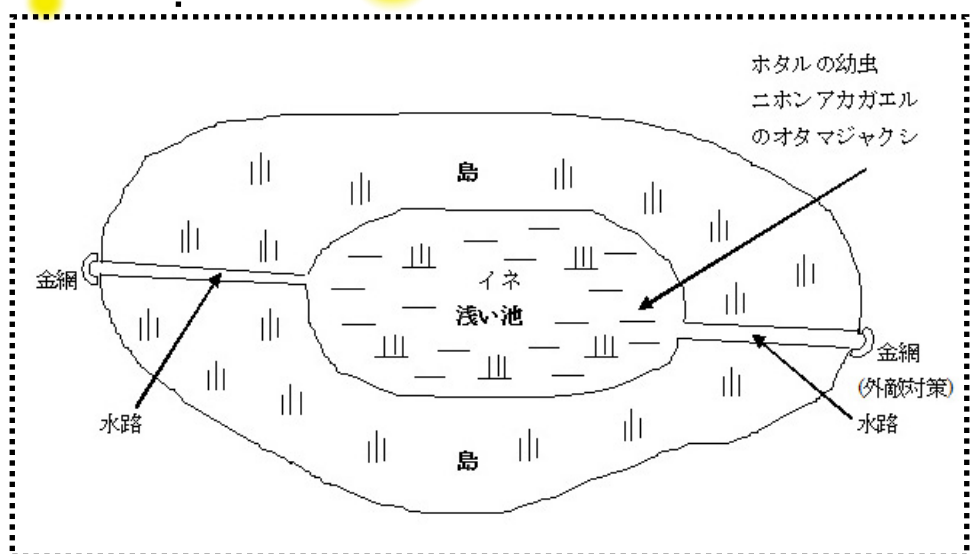


図2. 湿地の中の島と池

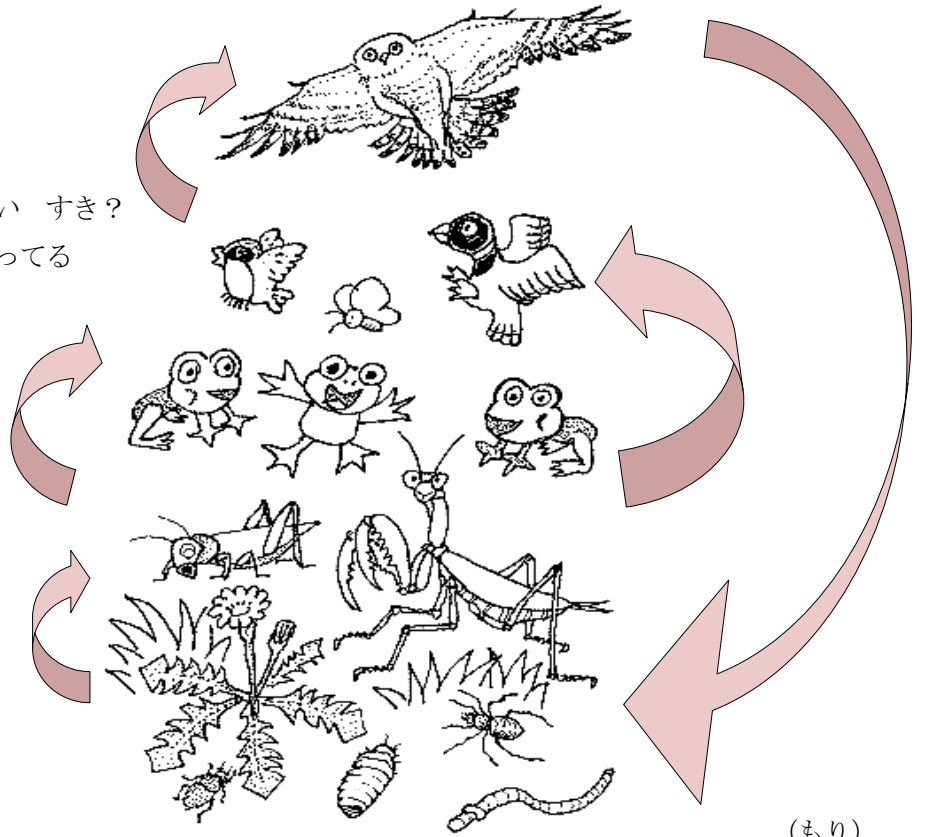
## ～きっすコーナー～

☆たべものつながり

よい子のみなさん こんにちは！  
にく すき？ さかな すき？ やさい すき？  
たべものは みんな いのち をもらってる

ほたるの里のいきものも  
みどりははっぱを 虫 がたべ  
虫は 小鳥やカエル がたべて  
カエルは サギやヘビ がたべ  
小鳥は タカ にたべられる

タカ が死んだら 土 になり  
草 がいっぱいそだちます  
こうして いのち はつながって  
みんな ぐるぐる 生きている



## やちよ里山シンポジウム 2010 の報告

### ～めぐみ豊かな里山保全へ向けて～

日時：3月6日（土） 13：30～16：00

参加者：98名 場所：八千代市緑が丘公民館 集会ホール

基調講演 「里山と生物多様性」 長谷川 雅美氏（東邦大学理学部教授）

八千代市の里山紹介 桑波田 和子氏（ほたるの里づくり実行委員会）

八千代市谷津・里山保全計画 高橋 和也氏（環境保全課環境政策室）

船橋での里山活動紹介 中嶋 守男氏（NPO 法人こびすくらぶ代表）

意見交換会

していくことが、恵み豊かな里山保全への近道と話されました。

こびすくらぶの中嶋氏は、船橋市内での森林整備活動について、ユーモアたっぷりに話されました。活動は、

昭和30年頃の八千代市内には、谷津・里山が50箇所くらいありましたが、現在では15箇所と減少しています。また、残っている里山は竹が進入し、田んぼは休耕田が目立ちます。都市化が進む八千代市内で、緑が残る里山風景は人間にとっても、心の癒し・豊かさを満たし、活力を与えてくれます。また、食料の生産の場、ヒートアイランドの防止など、大切な場所です。

基調講演では、この恵み豊かな里山を、再生・活用・保全していくために、市民の支援、経済の面から支えるにはどのようにすれば良いかを考える場となりました。講師の長谷川氏は、大草谷津田（千葉市）での再生・保全活動について、市民・大学・行政との活動を紹介され、さらに、地産地消や市民の里山応援など、里山の活用を経済面からもサポートし、里山を活性化

船橋市の森林所有者43名の森林で、森林施業計画を策定し、年間3万円/haの受託金で森林の整備です。メンバーは、船橋市が市民を対象にした「森林の学校」の受講生や既存の森林ボランティアです。活躍は、整備された森に、こびすくらぶの看板があり、竹の生垣など成果を見ることができます。大いに参考になりました。

ほたるの里づくり実行委員会では、ニホンアカガエル、ヘイケボタルのすむ谷津田の冊子の紹介、八千代市からは、平成22年度策定する八千代市谷津・里山保全計画についての説明と、21年度に実施した、市民参加による谷津・里山現況調査についての紹介でした。

（文責：広報部）





## 22年度のスケジュール



### 総 会

4/10 (土)	10:00~12:00
----------	-------------

### ナイトウォッチング

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

### 見 学 会

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

### ザリガニ釣り大会

8/28 (土)	9:00~11:00
----------	------------

### 学 習 会

10/16 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

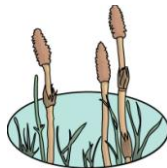
### 環境整備

5/ 8 (土)	9:00~11:00
6/19 (土)	9:00~11:00
7/24 (土)	9:00~11:00
8/28 (土)	9:00~11:00
9/25 (土)	10:00~12:00
11/13 (土)	10:00~12:00
3/ 5 (土)	10:00~12:00

### 作 品 展

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。	(予定会場) 市役所 イオン緑が丘店2階ローズ広場
--------------------------	---------------------------------

## 自然観察会のお知らせ



主催：八千代市役所 環境保全課

日時：5月22日(土) 午前9:30~12:00

場所：ふるさとステーション入り口前集合・解散

参加費：保険代として50円

内容：自然豊かな菖蒲谷津周辺を自然観察指導員と一緒に歩きます。先着20人。

申込：電話で八千代市役所 環境保全課まで

Tel 047-483-1151(内線3215) 5月6日より受付

## ちばほたるマップ2010 作成します

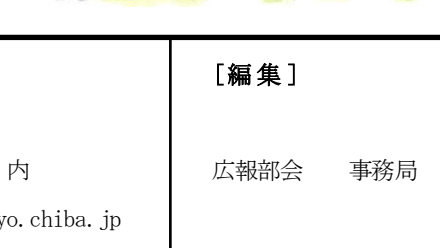
平成21年度LOVE OUR BAY募金の助成金交付金を受けることになりました。

2004年に作成した「ちばほたるマップ2004」作成後6年がたち、県内のホテル状況を調べて、マップを作成します。実行委員会では今後、どのようなマップを作るか検討しています。

### 編集後記・・・(広報部より)

新緑が美しい季節となりました。里の周りの田んぼにも水が入り、心豊かな気持ちになります。

里だよりでは、皆さまのご意見、原稿を募集しています。下記事務局までお知らせください。



### [ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

### [編集]

広報部会 事務局